

2021年度 連結決算サマリー (前年比較)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

	2020年度	2021年度(当期)				
	実績	実績	増減額	増減率	為替影響額	為替影響を除く増減率
売上高	14,151	15,848	+1,696	+12.0%	+444	+8.9%
営業利益	△564	541	+1,105	-	+185	-
経常利益	△291	743	+1,034	-		
当期純利益	△1,200	773	+1,974	-		

* 売上高

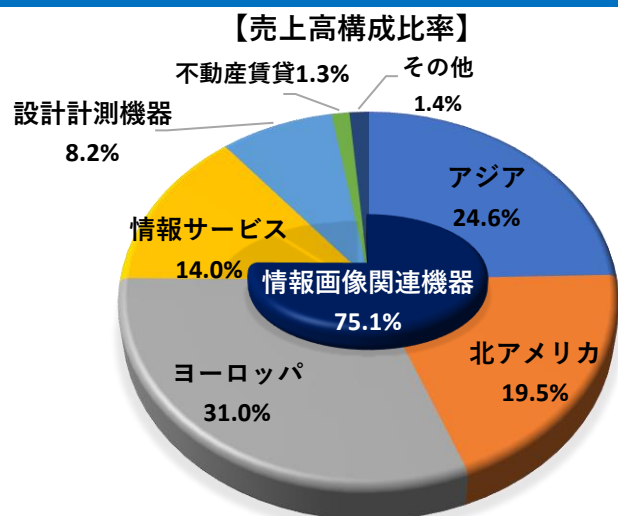
⇒情報画像関連機器事業は、コロナ影響の大きかった前年同期に対し、北米、ヨーロッパを中心に大幅増収
⇒情報サービス事業は、感染症拡大の影響を受け微減

* 利益面:

⇒物流コスト上昇、材料費高騰、生産部品の供給課題を乗り越え、前年から大幅増益

セグメントの状況

(百万円未満切捨て)



事業・地域区分	売上高				セグメント利益		
	金額	増減率	参考: 為替影響		金額	前年差	参考: 為替影響額
			金額	為替影響を除く増減率			
アジア	3,894	+0.0%	+22	△0.6%	244	+744	+184
北アメリカ	3,089	+19.7%	+164	+13.4%	△9	△37	+0
ヨーロッパ	4,910	+34.4%	+258	+27.3%	△10	+177	+1
情報画像関連機器	11,894	+17.4%	+444	+13.0%	225	+884	+185
情報サービス	2,221	△2.0%			256	+105	
設計計測機器	1,294	△2.4%			243	+15	
不動産賃貸	201	+11.8%			178	+0	
その他	235	△4.4%			△21	+7	
調整					△340	+92	
連結合計	15,848	+12.0%	+444	+8.9%	541	+1,105	+185

* 主力の情報画像関連機器事業は増収増益を実現。

しかしながら、年央よりの物流問題に加え4Qより一部の生産部品の供給遅延の顕在化により、海外地域の収益を圧迫

貸借対照表の状況

・連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科目	期別	前期末	当期末	増減	科目	期別	前期末	当期末	増減
流動資産計		15,336	16,296	+960	負債計		4,954	5,430	+476
現預金		8,301	8,775	+474	流動負債		3,553	3,897	+343
その他		7,034	7,520	+486	固定負債		1,400	1,533	+132
固定資産計		9,886	10,377	+491	純資産計		20,268	21,243	+975
有形固定資産		3,455	3,308	△147	株主資本		21,381	22,025	+644
無形固定資産		75	83	+7	その他の包括利益累計額		△1,872	△1,573	+298
投資その他の資産		6,355	6,985	+630	非支配株主持分		759	790	+31
資産合計		25,222	26,674	+1,451	負債・純資産合計		25,222	26,674	+1,451

* 総資産は、対前期末 +1,451百万円の増加。

- ・流動資産・・・+960百万円の増加(主に現預金増加474百万円、棚卸資産増加+513百万円)
- ・固定資産・・・+491百万円の増加(主に投資有価証券の増加+607百万円、建物及び構築物、土地の減少△138百万円)
- ・負債・・・+476百万円の増加(流動負債+343百万円(主に未払法人税等)、固定負債+132百万円(主に繰延税金負債))
- ・純資産・・・+975百万円の増加(主に当期純利益の計上と株式配当支払いによる利益剰余金の増加+637百万円、為替換算調整勘定の増加+315百万円)

連結業績予想

単位:百万円	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年度年間	16,100	400	400	100
(ご参考)前期実績	15,848	541	743	773

年度前半は原材料供給問題など企業物価の上昇が継続し、年度後半に向けて緩やかに回復が期待されるものの、現時点では先行きは不透明な状況。継続的な増収、安定収益基盤の確立に取り組んでまいります。為替レートは、1ドル113円、1ユーロ128円

配当予想

単位:円	第2四半期末	期末	年間計	配当性向
2021年度予定 (普通配当) (記念配当)	0.00	35.00 30.00 5.00	35.00 30.00 5.00	20.60%
2022年度	-	-	-	-

2022年3月5日に創立70周年(創業80周年)を迎えたことを記念して、1株当たり30円の普通配当に5円の記念配当を加えた35円とさせていただきます。なお、2022年度の配当は現時点では未定としております。